

### 第3章「基礎戦略2」 総合力豊かな人材を育てるまちづくり

子どもを健やかに育てるための生活環境や、子育てを支援する雇用環境の充実などを図りながら、子どもを安心して産み育てることのできる環境づくりに努めるとともに、「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒の育成を目指し、学び考える力、豊かな心、健やかな体を育み、社会人として必要な総合的な力を身に付ける教育の充実を図ります。

また、市民の芸術文化活動へのニーズに応える取り組みを進めるとともに、市民がスポーツに親しめる環境づくりに取り組みます。

#### 【指標の状況】

◆:新型コロナウイルス感染症の影響が大きい指標

指標名	目標の方向	基準値(H26)	目標値(R2)	実績値(R2)	達成率
<b>第1節 子育て支援の充実</b>					
子育て支援に関する満足度平均値(ポイント) ※1 市民満足度アンケート	↑	2.80	3.50	3.05	87%
特別保育事業の実施箇所数(箇所)	↑	25	43	51	119%
教育・保育の提供不足量(人) ※2	↓	55	0	0	100%
<b>第2節 学校教育の充実</b>					
学習状況が良好な児童の割合・小学校(%) (CRT:評定3以上の子どもの割合)	↑	87.5	90.0	90.4	100%
学習状況が良好な生徒の割合・中学校(%) (CRT:評定3以上の子ども割合)	↑	72.0	80.0	71.5	89%
英語の授業がわかる生徒の割合(%)	→	71.7	75.0	74.0	99%
中高生海外派遣事業派遣者数(人) ◆ ※再掲	→	10	10	未実施	—
<b>第3節 生涯学習の充実</b>					
市民1人あたりの社会教育施設(市民センター)利用回数(回) ◆	↑	3.65	4.06	2.04	50%
文化施設利用者数(人) ◆	↑	99,700	102,200	25,621	25%
市民1人当たりの貸出冊数(冊)	↑	3.6	7.0	3.4	49%
<b>第4節 生涯スポーツの振興</b>					
生涯スポーツに関する満足度平均値(ポイント) ※3 市民満足度アンケート	↑	3.01	3.25	3.12	96%
市民1人当たりの体育施設利用回数(回) ◆	↑	4.85	5.48	3.70	68%
三船十段記念館入館者及び道場利用率(%) ◆ ※4 総人口に占める入館者及び道場利用者数の割合	↑	25.86	30.12	22.47	75%
<b>第5節 男女共同参画社会の推進</b>					
男女共同参画に係る出前講座(回)	↑	4	6	4	67%
審議会等における女性委員登用率(%)	↑	35.9	40.0	29.1	73%
男女共同参画サポーター認定者数(人) ※累計	↑	32	40	41	103%

※1「子育て支援に関する満足度平均値」のH26の欄の数値はH27の数値を使用。

※2「教育・保育の提供不足量」のH26欄の数値は「久慈市 子ども・子育て支援事業計画」のH27見込み数値を使用

※3「生涯スポーツに関する満足度平均値」のH26の欄の数値はH27の数値を使用。

※4 総人口に占める入館者及び道場利用者数の割合

目標の方向が「↑」の場合：実績値が大きいほど良好な結果であり、達成率は大きくなる。

目標の方向が「↓」の場合：実績値が小さいほど良好な結果であり、達成率は大きくなる。

## 【総合評価】

### 【第1節 子育て支援の充実】

子育て支援の充実については、児童手当や児童扶養手当を支給したほか、医療費助成事業において、令和2年8月より、3歳未満の乳幼児の所得制限の撤廃、現物給付対象者を中学生まで拡大し、受給者の利便性を高めました。

また、多様な保育ニーズに応えるための延長保育や一時保育、病児・病後児保育といった特別保育事業を実施し、実施箇所数は、51カ所となり、目標を達成しています。保育施設の整備については、民間保育所のフェンス改修に対して支援を行いました。今後も、各種の媒体を通じた情報の発信に努めるとともに、保育園等の施設や各種の子育て支援事業の充実を図り、市民満足度の向上に努めます。

### 【第2節 学校教育の充実】

学習環境については、総合的な学習の時間では、児童生徒の活動の幅や視野を広げるため農業体験、宿泊研修等を行ったほか、山形地区での集合学習を実施しました。また、適宜、学校施設の維持補修を行うとともに、遠距離通学支援、就学援助等により学習環境の充実を図りました。

学校ICT環境については、全学校に無線LAN環境を整備するとともに、教職員校務用パソコン及び指導用タブレットを配備し、デジタル教科書や校務支援システムなどのソフトウェアを活用した情報教育の推進と校務の効率化を図りました。また、児童生徒1人1台のタブレット端末2,612台の配備、学習支援ソフトの導入等を実施し「GIGAスクール構想の実現」に向けた環境整備を推進しました。

学習状況が良好な児童の割合は、小学5年生が90.4%、中学2年生では71.5%となりました。今後も、各校が児童生徒の具体的な分析に基づいた「確かな学力育成プラン」の実現に向けて主体的に取り組めるよう指導主事を派遣し、教育の充実に努めます。

### 【第3節 生涯学習の充実】

市民の生涯学習については、子どもから高齢者まで879回の学習機会を提供し、14,979人の参加がありました。市民センターの年間の利用者総数は68,853人、市民1人当たり2.04回の利用となっており、文化施設利用者数は、25,621人となりました。どの数値も、新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく減少しています。今後は、感染症予防の対策を行いながら、市民や団体等が気軽に集まり、利用しやすい施設になるよう努めるとともに、市民のニーズを把握し、多種多様な学習機会の提供に努めます。

### 【第4節 生涯スポーツの振興】

生涯スポーツに関する満足度平均値（市民満足度アンケート）の結果は、3.12ポイントで、前年度比0.16ポイントの増加となっています。また、市民1人当たりの体育利用施設利用回数は、新型コロナウイルス感染症の影響による休館措置や利用制限、活動自粛要請などの影響により、3.7回と前年度比0.6回の減となりました。

今後は、感染症対策を講じながら、スポーツの楽しさを感じられる競技会、イベント事業を検討し、ライフステージに合わせ、身近にスポーツを親しむことができる環境づくりに努めます。

#### **【第5節 男女共同参画社会の推進】**

男女共同参画社会の実現に向け、市民や企業、団体が一体となった取り組みができるよう出前講座を4回開催したほか、広報による啓発活動や女性リーダーの育成として、団体の活動支援を行うとともに、男女共同参画サポーター養成講座等へ市民を派遣しました。

職場、学校、地域、家庭等あらゆる分野で男女共同参画社会を実現するため、今後も出前講座やイベント等を継続開催し、市民の学習機会を提供するとともに、関係機関との連携を強化し、施策の推進を図ります。

### 第3章 基礎戦略2 総合力豊かな人材を育てるまちづくり 第1節 子育て支援の充実

#### 【令和2年度の取組】

##### ① 子育て環境の充実（子育て世代包括支援センター・市民課）

###### ● 子育て世代包括支援センターの開所

令和2年度から、子育て世代包括支援センターが開所し、妊娠期から子育て期までの切れ目のないきめ細やかな支援体制を整備しました。

###### ● 児童手当の支給

家庭等の生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため、児童手当を支給しました。

受給者数 1,906人、支給額 440,145千円

###### ● 児童扶養手当の支給

母子及び父子世帯の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童福祉の増進のため、児童扶養手当を支給しました。

受給者数 340人、支給額 176,014千円

###### ● 子ども医療費助成

県と連携し、乳幼児、小中学生、ひとり親世帯の高校生までの医療費の全額・一部を助成しました。また、令和2年8月から、3歳未満の乳幼児の所得制限の撤廃、現物給付対象者を中学生まで拡大し、受給者の利便性を高めました。

##### ② 幼児期の教育・保育環境の充実（子育て世代包括支援センター）

###### ● 保育サービスの充実

保護者が安心して働くことができるよう保育所は公立2施設、民間13施設、認定こども園5施設、へき地保育所1施設、児童館1施設で保育サービスの充実に努めました。

また、保育所入所児童の保護者の負担軽減を図るため、国で定められている徴収基準による利用料と比べて48,351千円を軽減しました。

###### ● 特別保育事業等の実施

多様な保育ニーズに応えるため、延長保育、一時預かり、病児・病後児保育などの特別保育事業や障害児保育事業を、51施設で実施しました。

###### ● 放課後児童健全育成事業

小学校児童を対象に保育を行う学童保育所12施設に対し、運営の支援を実施し、児童の健全育成を推進しました。

##### ③ 保育施設等の整備（子育て世代包括支援センター）

###### ● 民間保育所施設整備事業費補助金

民間保育所のフェンスの改修（外構整備）に対し補助金を交付しました。フェンスの改修が行われたことにより、安全、安心な保育環境の充実が図られました。

#### ④子育て支援施設の充実（子育て世代包括支援センター）

##### ●子育て支援施設の取組

子育て支援センターやつどいの広場において、各種相談指導や子育て支援事業を実施しました。子育て支援センターでは、児童3,592人、保護者3,025人の計6,617人、つどいの広場では、児童740人、保護者566人の計1,306人が参加しました。

##### ●子育て支援情報紙の発信

子育て支援情報誌にQRコードを付けるなど利用しやすく改善しました。

##### ●学童保育所の施設整備

学童保育所のエアコン設置1施設、給湯器修繕2施設の整備を実施しました。また学童保育所のトイレ改修工事に対し、補助金を交付しました。

##### ●児童発達支援事業「モウモウルーム」の実施

発達に不安のある児童10人を対象に、日常の基本動作の指導や集団生活への適応の訓練を通して、心身の発達を促す支援を行いました。

### 【施策の評価】

#### ①子育て環境の充実（子育て世代包括支援センター・市民課）

市民満足度アンケートにおける子育て支援に関する満足度平均値は、目標を0.4ポイント下回っていますが、前年度より増加しました。子育て世代包括支援センターの利便性の向上を努めるとともに、子育て世代のニーズ把握を図り、市民満足度向上に努めます。

#### ②幼児期の教育・保育環境の充実（子育て世代包括支援センター）

特別保育事業の実施個所数は51カ所まで増加し、目標値は達成しましたが、更なる幼児期の教育・保育環境の充実に向けて取り組みます。

#### ③保育施設等の整備（子育て世代包括支援センター）

保育施設2施設の外構整備に対し支援を行い、安全、安心な保育の提供体制の充実が図られたところであり、今後においても必要とされる教育・保育施設等の整備に対し支援します。

#### ④子育て支援施設の充実（子育て世代包括支援センター）

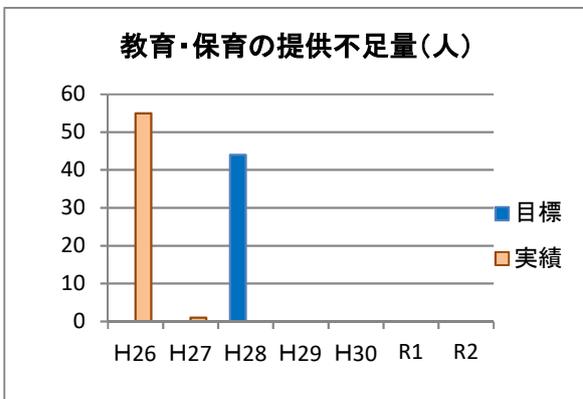
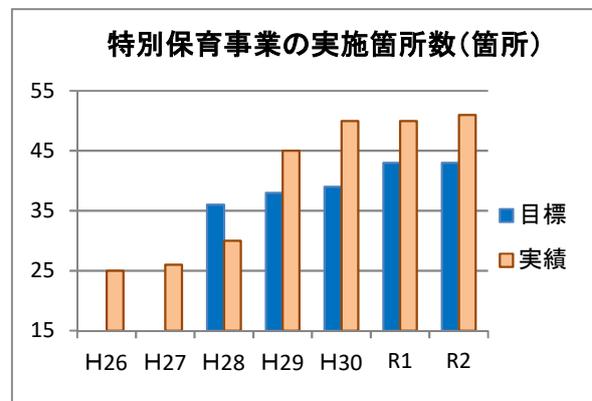
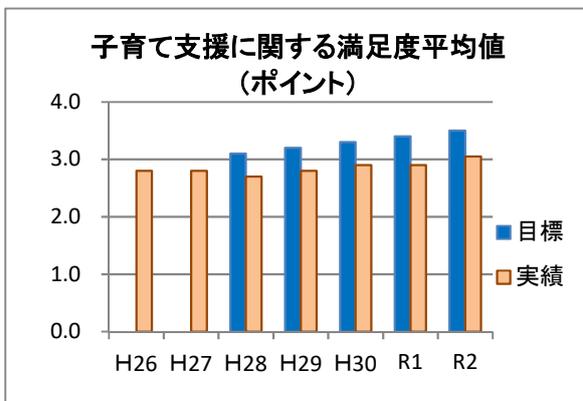
子育て支援センターやつどいの広場を拠点とした各種子育て支援事業の充実に努めます。また、利用しやすい子育て支援情報誌の作成に努め、各種媒体を通じた情報の発信をし、市民満足度の向上に努めます。

【指標の状況（詳細）】

指標（単位）	基準値 (H26)	区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2
子育て支援に関する満足度 平均値（ポイント） ※1 市民満足度アンケート	2.8	目標	3.10	3.10	3.20	3.30	3.40	3.50
		実績	2.80	2.70	2.80	2.90	2.90	3.05
		達成率		87%	88%	88%	85%	87%
特別保育事業の実施箇所 数（箇所）	25	目標	36	36	38	39	43	43
		実績	26	30	45	50	50	51
		達成率		83%	118%	128%	116%	119%
教育・保育の提供不足量 （人）※2	55	目標	44	44	0	0	0	0
		実績	1	0	0	0	0	0
		達成率		100%	100%	100%	100%	100%

※1 「子育て支援に関する満足度平均値」のH26の欄の数値はH27の数値を使用。

※2 「教育・保育の提供不足量」のH26の欄の数値は「久慈市 子ども・子育て支援事業計画」のH27見込みの数値を使用



### 第3章 基礎戦略2 総合力豊かな人材を育てるまちづくり 第2節 学校教育の充実

#### 【令和2年度の取組】

##### ①生きる力の育成（学校教育課）

「総合的な学習の時間」では児童生徒の「生きる力」を育むことを目的として多様な体験活動を主とした学習を展開しました。小学校では農作物の栽培、そば打ちを、中学校では宿泊研修やキャリア教育が主な活動となりました。

市内の小中学校の児童生徒が一堂に会した音楽発表会では、小学校の部に437名、中学校の部に421名が参加し、日ごろの活動の成果を発表し合いました。また、山形地区では少人数では取り組むことが難しい学習活動を集合学習により年7回実施しました。また、中学校の教科書改訂に併せて教師用のデジタル教科書の整備を行いました。

##### ②国際理解教育の充実（学校教育課）

外国語指導助手（ALT）を3名雇用し、市内小中学校で外国語活動及び英語指導補助を行いました。

##### ③特別支援教育の充実（学校教育課）

特別な支援を必要とする児童生徒がいる学校でのきめ細かな指導を実現するとともに、学校生活を充実させるため、くじかがやきプラン特別支援教育支援員を市内18校に24名配置しました。

##### ④情報教育の充実（学校教育課・教育総務課）

スマートフォンやSNS等の利用に際しての留意点等を盛り込んだ児童生徒向け啓発リーフレット2種を各小中学校に配布しました。岩手県教育委員会主催の「情報モラル教育授業づくり研修会」に各中学校の教職員が参加しました。

また、いじめ問題等についての知識の習得と理解を図るとともに、いじめの実態把握、いじめの未然防止の取組、重大事態への対応等及び情報モラル指導について、研鑽をつみました。

学校ICT環境については、全学校に校内無線LAN環境を整備するとともに、教職員校務用パソコン404台及び指導用タブレット端末461台を配備し、デジタル教科書や校務支援システムなどのソフトウェアを活用した情報教育の推進と校務の効率化を図りました。また、児童生徒1人1台のタブレット端末2,612台の配備、学習支援ソフトの導入、充電保管庫の設置、高速通信に対応した校内LANケーブルへの更新を実施し、「GIGAスクール構想の実現」に向けた環境整備を推進しました。

#### ⑤学習環境の充実（教育総務課）

##### ●遠距離通学支援事業

小中学校の統合により、遠距離通学となった児童生徒に対し、スクールタクシー10路線の委託運行に加え、山根・滝方面及び山形地区（5方面）ではスクールバスを直営で運行しました。

また、市民バスを利用する児童生徒に対しても乗車券を交付し、安全な通学手段を確保しました。

##### ●就学援助事業

経済的な理由によって就学困難な児童370人、生徒201人の家庭に対し、就学援助費41,328千円を支給しました。また、東日本大震災により被災した児童2人及び生徒2人の家庭に対し、就学援助費293千円を、特別支援学級就学児童48人及び生徒22人の家庭に対し、経済状況により就学奨励費1,976千円を支給しました。

#### ⑥学校施設の充実（教育総務課）

改修工事等6件、小修繕等166件を実施し、学校施設の維持管理及び環境の充実に努めました。

（改修工事等）

小久慈小学校：防火設備改修

大川目小学校：特別支援教室改修

山形中学校：防火設備改修、屋根改修

久慈中学校：特別教室棟外装改修

山形地区小中学校：エアコン設置

（遊具の修繕）

小久慈小学校、宇部小学校

#### ⑦学校給食の充実（学校給食センター）

児童・生徒・教職員等約3,000人に対し、安心・安全な給食を提供しました。

主食の米は久慈市産米を93%、牛乳については「おおのゆめ牛乳」により久慈地域産100%を使用し、その他海産物・野菜類等、地域の特産物についても、食材の旬や生産時期に応じて地場産品の活用に努めました。

また、栄養教諭による食育授業を小・中学校あわせて110回実施したほか、当市の特産食材を活用した「地産地消ふれあい給食の日」を、11月から2月にかけて計12回実施し、併せて生産者等を交えての出前講座を8小学校で開催し、農林水産業への理解を高める機会を設けるなど、食育を推進しました。

令和2年度から学校給食の献立の質を維持することを目的に、給食費を小学校1食当たり280円、中学校1食当たり300円に改定し、給食基準日数を172日としました。

## 【施策の評価】

### ①生きる力の育成（学校教育課）

総合的な学習の時間では地域や企業の方々からの協力をいただきながら活動を行いました。今後も児童生徒の活動の幅や視野を広げるため事業を継続していきます。

市内小中学校音楽発表会は日頃の音楽活動の成果を発表し合い、他校の発表の鑑賞をとおして豊かな表現力や音楽性を高める機会となりました。

山形地区の集合学習では、中学校で一緒に学ぶことになる児童が月に一回程度集まり、協力して活動を行うことにより、進学後の学級活動の順調なスタートにつながっています。

CRT（教研式標準学力検査）の結果によると学習状況が良好な児童生徒の割合は小学5年生が90.4%、中学2年生では71.5%となりました。指導主事学校訪問事業により、市内各小・中学校を訪問し、各校が立案し実施している「確かな学び豊かな学び実現プラン」の進捗状況の把握と指導に努めます。

### ②国際理解教育の充実（学校教育課）

外国語指導助手（ALT）の派遣により、小・中学校における英語教育の充実が図られています。岩手県学習定着度状況調査の結果によると英語の授業がわかる生徒の割合が令和元年度及び令和2年度とも74.0%と目標値を下回っていますが、平成27年度から見ると大きく上昇しております。今後さらに英語教育の充実を図り、目標達成に努めます。

### ③特別支援教育の充実（学校教育課）

就学支援コーディネーターを中心とした就学前の支援及び就学後のくじかがやきプラン特別支援教育支援員の配置により、児童生徒への目の行き届いた支援・指導が可能となっていますので今後も継続していきます。

### ④情報教育の充実（学校教育課）

リーフレットの配布や研修会等により、児童生徒と教員、保護者の情報教育に関する意識は高まり、各校でも情報モラルに関する研修や指導を行っています。今後も継続して支援の充実を図ります。

### ⑤学習環境の充実（教育総務課）

#### ●遠距離通学支援事業

児童生徒の減少に伴って送迎人数は減少傾向にあります。引き続き各地区及び学校の状況に応じた通学支援を推進していきます。

#### ●就学援助事業

経済的な理由によって就学困難な児童生徒数の実支給者数を前年度と比較すると、47人の減少であり、支給金額では5,836千円の減少となりました。

このうち、東日本大震災被災分の児童生徒数は、令和元年度より7人の減少であり、金額では646千円減少しました。特別支援については、令和元年度より9人の増加であり、金額では655千円の増加となっています。今後も費目毎の支給額の見直しなど、援助事業の充実を図ります。

**⑥ 学校施設の充実（教育総務課）**

学校施設の地震対策については、平成26年度に耐震化率100%を達成し、平成27年度には7校の天井落下防止対策を実施しました。トイレの水洗化については、平成28年度に水洗化率100%を達成しました。また、設備関係については、平成28年度から計画的に受変電設備の更新を行っています。

久慈湊小学校の移転改築事業については、令和2年3月に久慈湊小学校移転改築基本構想を策定しましたが、今後岩手県が公表を予定する県の津波浸水想定を参考に安全対策の再検討を行いながら進めます。

今後も、「小中学校の適正配置に関する基本方針」等との整合性を保ちながら、学校施設の適切な維持管理を図り、計画的な整備を進めます。

**⑦ 学校給食の充実（給食センター）**

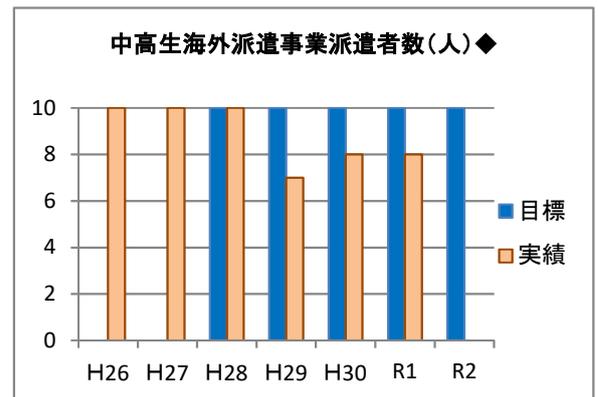
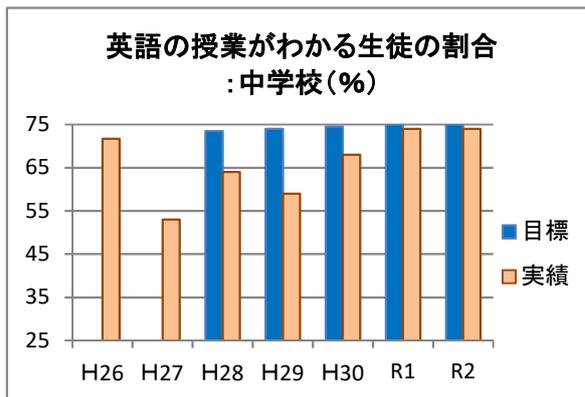
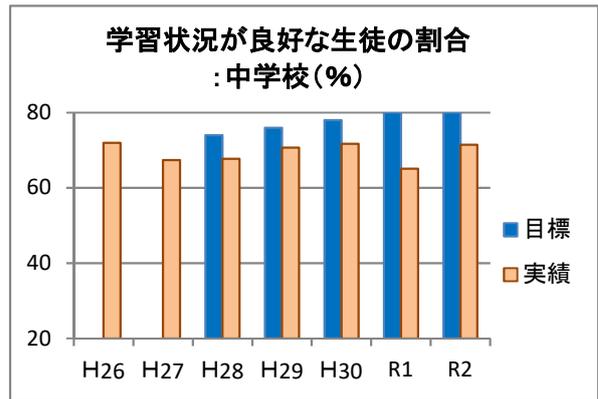
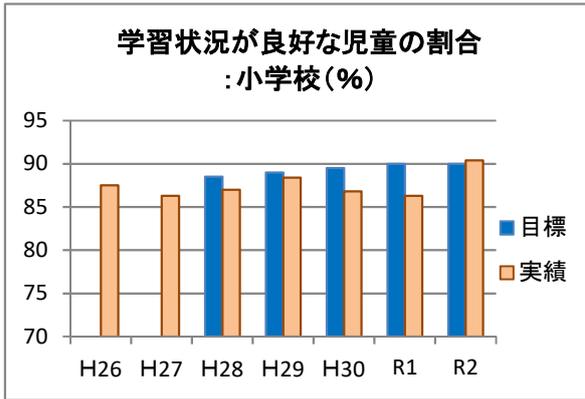
地産地消は、食育指導をするにあたり、地域の食文化や産業についての関心や理解を深め、食に関わる人々や食物への感謝の気持ちを育ませるなど、教育的意義が高いことから、引き続き推進します。

また、毎年3割程度で推移している地域産食材の購入割合を高めるため、郷土料理や和食を活用した給食の提供を推進するなど、地場産品の更なる利用を図ります。

**【指標の状況（詳細）】**

◆：新型コロナウイルス感染症の影響が大きい指標

指標（単位）	基準値	区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	(H26)							
学習状況が良好な児童の割合・小学校(%) (CRT: 評定2以上の子どもの割合)	87.5	目標		88.5	89.0	89.5	90.0	90.0
		実績	86.3	87.0	88.4	86.8	86.3	90.4
		達成率		98%	99%	97%	96%	100.4%
学習状況が良好な生徒の割合・中学校(%) (CRT: 評定3以上の子どもの割合)	72.0	目標		74.0	76.0	78.0	80.0	80.0
		実績	67.4	67.7	70.7	71.7	65.1	71.5
		達成率		91%	93%	92%	81%	89.4%
英語の授業がわかる生徒の割合(%)	71.7	目標		73.5	74.0	74.5	75.0	75.0
		実績	53.0	64.0	59.0	68.0	74.0	74.0
		達成率		87%	80%	91%	99%	98.7%
中高生海外派遣事業派遣者数(人) ◆ ※再掲	10	目標		10	10	10	10	10
		実績	10	10	7	8	8	未実施
		達成率		100%	70%	80%	80%	—



### 第3章 基礎戦略2 総合力豊かな人材を育てるまちづくり 第3節 生涯学習の充実

#### 【令和2年度の取組】

##### ①生涯学習の充実（生涯学習課）

###### ●学校・家庭・地域の連携協力推進事業

地域全体で子どもを育む環境づくりを充実させるため、学校・家庭・地域の連携協力推進事業を実施しました。家庭教育の支援としては、乳幼児期から思春期までの子どもとその保護者を対象に、小・中学校を会場に18回の学習機会を提供しました。各市民センターを拠点に実施する放課後子ども教室では、1,731人のサポーター等指導者が参画して子どもたちの放課後の見守りや活動支援を行いました。学校支援地域本部事業では、学校と地域の連携協働体制を構築するため、地域のボランティア6,294人の協力を得て、20校において学校の教育活動を支援する取り組みを実施しました。

###### ●生涯各時期における学習活動の支援

各市民センターにおいては、子どもから高齢者まで各年代のニーズに応じた様々な講座や事業を展開し、市内9市民センターにおいて879回の学習機会を提供し、14,979人の参加がありました。

###### ●公民館類似施設等社会教育事業費補助事業

公民館類似施設における社会教育活動を支援するため、施設の備品購入や維持補修事業に対し、15館に補助金2,147千円を交付しました。

##### ②文化施設の連携と芸術文化活動の充実（文化課）

芸術・文化創造活動の推進のため、市制施行15周年記念公演として「音楽の贈り物 Vol.5～オール・チャイコフスキー・プログラム～」 「日生劇場ファミリーフェスティバル2020 NHKみんなのうたミュージカル『リトル・ゾンビガール』」 「DRUM TAO『THE BEST LIVE 祭響』」 「演劇公演『岬のマヨイガ』」 の4公演を企画し、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした『リトル・ゾンビガール』を除く3公演を実施したほか、共催公演を合わせて、鑑賞型事業は計6事業を実施し、来場者は1,283人（前年度5,489人）でした。前年度と比較し、9事業減、来場者数は4,206人、76.6%の減となりましたが、これは自主公演のほか「おらほーる劇場（公演）」や「岩手県青少年劇場」の中止、共催公演の減少によるものです。

育成・参加型事業は、「吹奏楽クリニック」「合唱ワークショップ」「おらほーる劇場（創作活動）」などの事業を中止しましたが、「あなたもアーティスト」や「ピアノマラソンコンサート」「文化団体活動支援事業」を実施しました。助成事業に伴う地域交流事業として「仙台フィルハーモニー管弦楽団による管弦楽クリニック」や「児童文学ふれあいトーク」「演劇ワークショップ」を実施し、助成条件を満たしました。参加者は505人（前年度5,550人）で前年度比、5,045人・91.0%の減となっており、主催の育成・参加型事業の中止のほか、文化庁が実施する「文化芸術による子供育成総合事業」の中止が影響しました。

コロナ禍において、来場者、参加者の安全・安心を担保しながら事業を実施するにあたり、「新型コロナウイルス感染防止主催者対応マニュアル」を作成し、国の指針や感染状況等をふまえて判断し、文化・芸術の提供に努めました。

### ③図書館機能の充実（生涯学習課）

#### ・新図書館整備事業の推進

駅前に整備する情報交流センター内に全面移転し、既存資料約10万冊の引っ越しを行い、指定管理者による新しい管理運営を開始しました。新図書館においては、蔵書をIC管理とし、自動貸出機を導入するなど、安心な管理を進めるとともに、利用者の利便性の向上に努めました。感染症予防対策のため、一部事業規模の縮小することとなりましたが、企画展（2館計52テーマ）や新規事業の「プログラミングワークショップ」や「ヨムノスシネマ」等を開催し、読書に対する関心や図書館事業への理解を深める機会としました。

#### ・子育て応援事業の推進29.129.1

子どもたちの成長に読書活動が重要であること踏まえ、親子の触れ合いを深める機会として、ブックスタート事業（絵本のプレゼント）を継続するとともに、新規事業「ぬいぐるみおとまり会」の実施や、感染症予防対策講じた読み聞かせ等をボランティアの協力のもと11月以降毎月実施しました。

### ④地域の歴史と文化の継承と発信（文化課）

新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業の実施に大きな影響が出ました。

旧長内中学校跡を活用し運営している久慈市歴史民俗資料室は、予約制により一般公開を実施しています。令和2年度は235人の来場があり、前年度比約39%の減となりました。施設の敷地を会場に開催される小久慈朝市にあわせて特別公開を実施しましたが、令和2年度の朝市は10月、11月の2回のみでの開催となりました。

また、「文化財めぐり」や「文化財展」などのイベントも中止となりました。

市内の小学校における出前授業や市民センターの主催による講座等に職員を派遣、歴史と文化の周知に努めました。

芸術文化事業では、久慈市民芸術文化祭の合同発表が中止となり、会員団体による個別の発表会も行われませんでした。

## 【施策の評価】

### ①生涯学習の充実（生涯学習課）

生涯学習や地域づくり活動の拠点である市民センターの利用者は、68,853人であり、市民1人あたり2.04回の利用実績となり、目標を大きく下回ることとなりました。新型コロナウイルスの感染症予防対策による事業中止のほか、サークル活動等、市民の集会活動を制限したことによるものが原因と思われます。今後、予防対策を図りながら、地域づくりや学習活動の場として、市民や団体等が気軽に集まり、利用しやすい施設になるよう努めます。

公民館類似施設については、老朽化が進み、地域における社会教育環境の整備が求められているところであり、補助制度の継続により支援します。

**②文化施設の連携と芸術文化活動の充実（文化課）**

文化施設利用者数は25,621人で目標値の102,200人を大きく下回りました。これは、音響改修工事による大小ホールの利用中止及び新型コロナウイルス感染症予防のためイベント開催自粛や収容人数などの制限による影響です。今後においても、市民のニーズを把握するとともに、新型コロナウイルス感染予防の対策を行いながら、多くの市民が利用できる事業実施と貸館の利用促進に努めます。

**③図書館機能の充実（生涯学習課）**

新図書館新築オープンに向け、資料の引っ越しのため、3カ月間休館し準備作業を行いました。また、新型コロナウイルス感染予防対策によるオープニングイベント等の縮小や、各種事業規模を縮小したため、貸出冊数は2館合計で115,350冊で、市民1人当たり3.4冊となり、新築オープンによる増加を見越した目標値には至りませんでした。自動貸出機や図書消毒機などの利便性の向上や、電子書籍サービスや「プログラミングワークショップ」等の新規事業の導入、休館時の移動図書館車サービスの拡大などにより、昨年度の実績を上回っています。

今後も、地域での活動支援や非来館サービスが重要となることから、感染症予防対策を講じながら、より親しまれる施設運営に努めます。

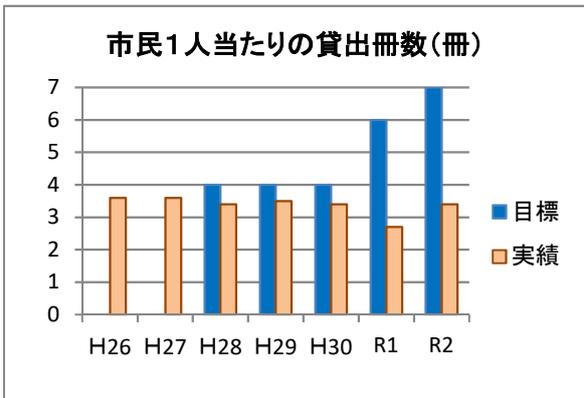
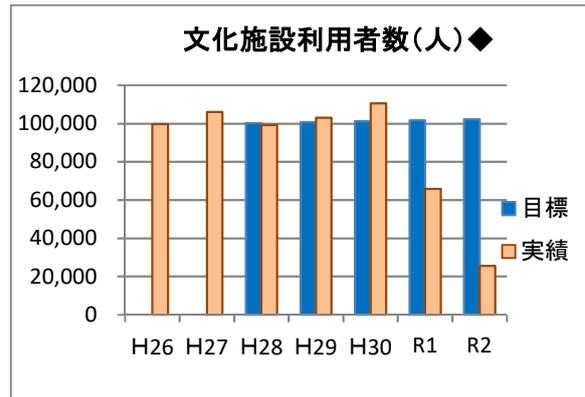
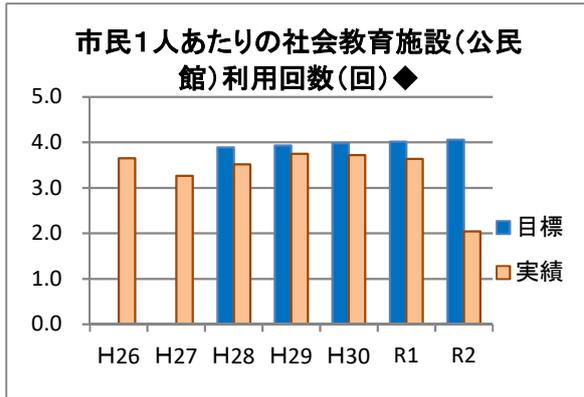
**④地域の歴史と文化の継承と発信（文化課）**

歴史民俗資料室は、久慈市の製鉄史・郷土の偉人・考古学等の資料や、住民から寄贈された古民具を展示・公開し、収蔵資料は点数、内容とも充実しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により来場者数が大きく減少しましたが、市内小学校の民具の授業による見学に活用されており、学習の場としての役割を果たしています。施設の適切な管理と運営、収蔵資料の保管に努めていくとともに、地域に残された貴重な文化財の保存と調査、情報発信を行います。

**【指標の状況（詳細）】**

◆:新型コロナウイルス感染症の影響が大きい指標

指標（単位）	基準値	区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	(H26)							
市民1人あたりの社会教育施設（市民センター）利用回数（回）◆	3.65	目標		3.89	3.93	3.98	4.02	4.06
		実績	3.27	3.52	3.75	3.72	3.64	2.04
		達成率		90%	95%	93%	91%	50%
文化施設利用者数（人）◆	99,700	目標		100,200	100,700	101,200	101,700	102,200
		実績	106,168	99,248	103,127	110,640	65,897	25,621
		達成率		99%	102%	109%	65%	25%
市民1人当たりの貸出冊数（冊）	3.6	目標		4.0	4.0	4.0	6.0	7.0
		実績	3.6	3.4	3.5	3.4	2.7	3.4
		達成率		85%	88%	85%	45%	49%



第3章 基礎戦略2  
総合力豊かな人材を育てるまちづくり  
第4節 生涯スポーツの振興

【令和2年度の取組】

①生涯スポーツの充実（生涯学習課）

●生涯スポーツ

新型コロナウイルスの影響により、市民マレットゴルフ大会や一部のスポーツ教室は中止となりましたが、感染状況を踏まえながら、感染予防対策を講じ可能な限りスポーツ教室を開催し、スポーツ活動の機会を提供しました。

- ・市民マレットゴルフ大会 中止（0大会・参加者0人、前年度比1大会減・73人減）
- ・スポーツ教室 開催（33回開催・参加者580人、前年度比8回減・167人減）

また、各競技団体等に補助金を支出し、スポーツ人口の拡大や選手の発掘、指導者の養成等を図りました。

- ・社会体育団体育成補助金
- ・スポーツ少年団育成補助金
- ・スポーツ振興事業費補助金

●スポーツ大会

新型コロナウイルスの影響により、多くのスポーツ大会が中止となりましたが、感染状況を踏まえながら、市体育協会、関係団体と連携して感染予防対策を講じ、可能な限りイベントを開催し、誰でも参加できる安全で魅力ある大会運営に努めました。

- ・第15回久慈市民体育大会 中止（参加者0人、前年度比2,692人減）
- ・第25回もぐらんぴあ駅伝競走大会 中止（参加者0人、前年度比507人減）
- ・第5回久慈あまちゃんマラソン大会 中止（参加者0人、前年度比1,365人減）
- ・市長杯争奪大会3大会（マレットゴルフ、少年野球、スキー・スノーボード）
- ・4大会を中止（柔道、パークゴルフ、ゲートボール、ゴルフ）  
（参加者計645人、前年度比223人減）

②体育施設の有効利用（生涯学習課）

共催、後援事業を44回開催し、体育施設の有効活用を図りました。市民体育館、第二体育館、柔剣道場等の利用者数は延べ127,223人となりました。（前年度比23,605人減）

③柔道のまちづくりの推進（生涯学習課）

新型コロナウイルス感染症の影響により、東北・管内レベルの各種柔道大会である第58回三船十段杯争奪柔道大会や、市長杯争奪柔道大会は中止となりました。また、三船十段杯争奪柔道大会柔道教室や柔道錬成会、小中学生を対象とした少年柔道強化遠征事業についても中止となりました。

三船十段記念館の活用については、資料の適正な管理・展示を行いました。

## 【施策の評価】

### ①生涯スポーツの充実（生涯学習課）

指標である生涯スポーツに関する満足度平均値（市民満足度アンケート）の結果は3.12ポイントで、昨年度に比べ0.16ポイントの微増となっていますが、目標を下回っています。

新型コロナウイルス感染症の影響により多くのスポーツイベントやスポーツ教室の中止を余儀なくされましたが、感染予防対策を講じながらスポーツ活動機会の提供を図るとともに、スポーツ施設の計画的な改修により、市民満足度がより高まるよう、生涯スポーツ推進のため努力を継続します。

### ②体育施設の有効利用（生涯学習課）

市民1人当たりの体育利用施設利用回数は、前年度比0.63ポイントの減となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月・5月における休館措置や、施設の利用制限、スポーツ団体への活動自粛要請を行ったことなどによる個人・団体の利用自粛が大きく大きく影響したものと捉えています。

また、人口減少や少子高齢化に伴い体育施設全体の利用者数は減少傾向にあることから、感染予防対策を徹底しながら、家族でもスポーツの楽しさや面白さを味わうことができるような運動教室やイベントを様々な角度から検討し、ライフステージに合わせ身近にスポーツに親しむことができる環境づくりに努めます。

### ③柔道のまちづくりの推進（生涯学習課）

指標である、三船十段記念館入館者及び道場利用率は前年度比7.31ポイント減少しました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月・5月における休館措置や、スポーツ団体への活動自粛要請を行ったことなどにより、道場利用が大きく減少したことが要因となっています。

各種柔道大会や教室等については、感染予防対策を講じながら安全な開催が可能な検討し、柔道を「する人」だけでなく、「見る人」「応援する人」を含めた柔道愛好者及び柔道人口の拡大に努めます。

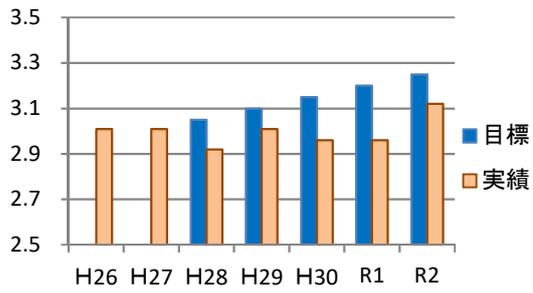
## 【指標の状況（詳細）】

### ◆：新型コロナウイルス感染症の影響が大きい指標

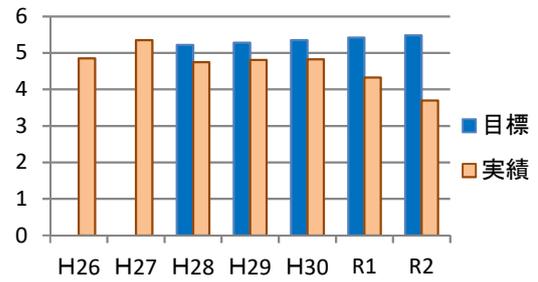
指標（単位）	基準値	区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	(H26)							
生涯スポーツに関する満足度平均値（ポイント） ※市民満足度アンケート	3.01	目標		3.05	3.10	3.15	3.20	3.25
		実績	3.01	2.92	3.01	2.96	2.96	3.12
		達成率		96%	97%	94%	93%	96%
市民1人当たりの体育施設利用回数（回）◆	4.85	目標		5.22	5.28	5.35	5.42	5.48
		実績	5.35	4.75	4.81	4.83	4.33	3.70
		達成率		91%	91%	90%	80%	68%
三船十段記念館入館者及び道場利用率（%）◆ ※総人口に占める入館者及び道場利用者数の割合	25.86	目標		28.33	28.76	29.21	29.66	30.12
		実績	28.37	31.77	33.40	34.56	29.78	22.47
		達成率		112%	116%	118%	100%	75%

※「生涯スポーツに関する満足度平均値」のH26の欄の数値はH27の数値を使用。

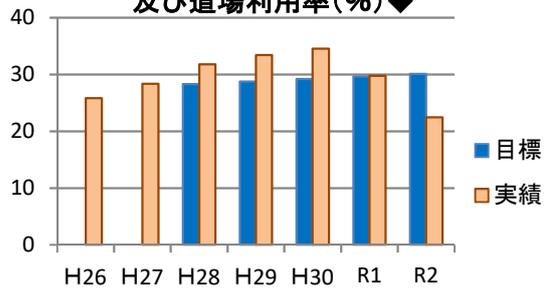
生涯スポーツに関する  
満足度平均値(ポイント)



市民1人当たりの  
体育施設利用回数(回)◆



三船十段記念館入館者  
及び道場利用率(%)◆



第3章 基礎戦略2  
総合力豊かな人材を育てるまちづくり  
第5節 男女共同参画社会の推進

【令和2年度の取組】

①市民の意識の醸成（地域づくり振興課）

男女共同参画社会の実現に向け、市民や企業、団体が一体となった取り組みができるよう男女共同参画推進事業等の開催や広報、啓発活動に努めました。

- ・ 出前講座（4回）
- ・ 広報くじ「Let's男女共同参画」コーナーの隔月掲載（6回）

②審議会委員等への積極的な登用（総務課・地域づくり振興課）

男女双方の意見を市政に反映するため、各種審議会で女性委員の登用を図るよう、各課に対し呼び掛けを行いました。

③女性リーダーの養成（地域づくり振興課）

女性団体の活動支援を行うとともに、広い視野と自覚を持ったリーダーを育成するため、男女共同参画推進委員、サポーター、女性団体へ講座を周知し、受講を行いました。

【施策の評価】

①市民の意識の醸成（地域づくり振興課）

職場、学校、地域、家庭等あらゆる分野で男女共同参画社会を実現するため、平成26年3月策定「第2次久慈市男女共同参画計画」に基づいて継続的に取り組みました。今後も出前講座やイベント等を継続開催し、市民の学習機会を提供するとともに、関係機関との連携を強化し、施策の推進を図ります。

②審議会委員等への積極的な登用（総務課・地域づくり振興課）

各種審議会における女性委員の登用率が29.1%と目標を下回っています。今後も引き続き審議会等に女性委員を登用するよう努めるほか、市内の事業所、団体等に対し男女共同参画の基本理念を普及し、候補者の掘り起こしを図ります。

③女性リーダーの養成（地域づくり振興課）

今後も幅広い視野と自覚を持ったリーダーの育成に努めます。

【指標の状況（詳細）】

指標（単位）	基準値 (H26)	区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2
男女共同参画に係る出前講座（回）	4	目標	4	5	5	5	5	6
		実績	3	5	6	5	4	4
		達成率		100%	120%	100%	80%	67%
審議会等における女性委員登用率（%）	35.9	目標	35.9	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0
		実績	35.6	35.6	32.2	29.6	29.6	29.1
		達成率		99%	87%	78%	76%	73%
男女共同参画サポーター認定者数（人）※累計	32	目標	32	36	37	38	39	40
		実績	35	35	37	39	39	41
		達成率		97%	100%	103%	100%	103%

